

2023年度4歳児年間カリキュラム

年間目標		<ul style="list-style-type: none"> 園生活に慣れ、喜んでいろいろな活動に取り組む。・身近な社会や自然の出来事に興味や関心を持ち、見たり触れたりする。・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、保育教諭や友達との関わりを深める。・日常生活の必要な良い習慣、態度を身につける。 いろいろな経験を通じて、生活に必要な身近な言葉を身につける。 															
子どもの姿と育てたい側面		<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児は新しい生活に不安を感じたり、緊張したりしているが、喜びの表現方法が気持ちの高ぶりからくこともあるだろうが、喜びの気持ちは十分に受けとめながら、意欲を育てたい。 ・進級の子どもは、一つ大きくなった喜びの気持ちが高まっているだろうが、時には不安も感じながら緊張もあるだろう。自分でできることを増やしなが自信につなげたい。 				<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが解放され始め自分なりの動きが出てくるようになる。それに伴っていろいろなことに興味、関心を示し、探索したり試したりして、自分の思いのままに行動しようとするようになる。 ・戸外への興味、行動範囲の広がり、危ない遊びも見られるだろうと予想されるが思う存分体を動かして遊ぶ楽しさを経験させたい。 ・友達を求めようになり、一緒にいたい気持ちが出てくる。関わりが増えてくる中で、自分の思いを通そうとしたり、相手の気持ちを受け入れたりしながら関わりを経験の幅を広げてあげたい。 				<ul style="list-style-type: none"> ・長期の休みの後、園生活への不安を示す子どもがいるかもしれない。園生活のリズムを取り戻していく。 ・友達と関わる姿が多くみられるようになり、その中で自己主張がはっきりしてくる。主張のできない子どもの中には力の強い子どもに従属して遊ぶ姿が見られる。友達との遊びを通して、相手にも思いがあることに気づかせるとともに生活のきまりや遊びのルールを理解して守る楽しさを育てたい。 ・身の回りの自然物や事象、いろいろな材料などに興味を持ち、関わりをもったり試したりするようにする。自然体験や社会体験の中での感動を大切に、いろいろな形で表現する楽しさを味わう。 				<ul style="list-style-type: none"> ・個々の興味の広がり、新しい活動にも進んで取り組むようになり、試したり工夫したりして遊ぶようになる。落ち着いてじっくり、遊びや生活に取り組む態度を養いたい。 ・友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思い描いた通りに進めたいとこだわりを見せる場面がしばしばみられる。個々のやりたい気持ちが十分に満足できるようにし、意欲を育てたい。 ・友達のことを自分の遊びに取り入れようとしていたり、自分の気持ちを表現して遊ぶようになる。遊びの中でイメージを膨らませたり、相手に自分の考えを伝えたりして、自分たちで遊びを進められるようにしたい。 			
発達節		Ⅰ期		Ⅱ期			Ⅲ期			Ⅳ期							
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に慣れ、安心して過ごす。 ・生活の仕方がわかり、出来ることは自分でやろうとする。 ・自分でやりたい遊びを見つけ、保育教諭や友達と楽しんで遊ぶ。 				<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊びに進んで参加し、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。友達との触れ合いをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・身近な自然に触れたり、見たりして遊ぶことを楽しむ。 ・自分の好きな遊びを見つけ、十分に楽しみ、思ったことや感じたことなどを表現する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・体を十分動かしたり、みんなで一緒に運動したりする楽しさを味わう。 ・いろいろな遊びに積極的に参加し、見たこと、感じたことを様々な方法で表現することを楽しむ。 ・身近な自然と十分にふれあい、興味を持ったり遊びに取り入れられたりして楽しむ。 ・好きな遊びや生活をする中で、友達と関わることの楽しさを味わう。 ・神さまから与えられた力を感じ、感謝の気持ちを持つ。 				<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊びに興味を持ち、それぞれが自分の力を発揮して活動に取り組む。 ・気心の知れた友達と一緒に試したり工夫したりして遊びを進める楽しさを味わう。 ・友達との生活を楽しみ、進級することへの期待をもって行動する。 			
指導内容の視点		<ul style="list-style-type: none"> ○保育者に親しみを持つ。 ○友達の存在に目を向け、ふれあいを持つ。 ○持ち物の始末や排せつなど自分でできることは自分でしようとする。 ●友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ●友達と同じ場所において同じことをする楽しさを知る。 ▼園庭や保育室の玩具、遊具で十分に遊ぶ。 ▼戸外で元気に遊ぶ楽しさを知る。 ▼交通安全のきまりや安全な歩行の仕方を知り、安全に気をつける。 ▼安全な遊びや用具の扱い方を知る。 ▼園での生活の仕方を知る。 ◆絵本や紙芝居を喜んで見たり聞いたりする。 ■歌、手遊びを喜んで楽しむ。 				<ul style="list-style-type: none"> ○夏を健康に過ごす生活の仕方を知る。 ○いろいろな遊びの中で体を十分に動かして遊ぶ。 ○身の回りのことなど、自分でできることは自分でする。 ▼安全な遊びや用具の扱い方を知る。順番、交替で使うものがあることを知る。 ▼遊具や用具の正しい扱い方を知り、安全に気をつけて遊ぶ。 ▼砂、水、泥などの感触を十分に味わい楽しむ。 ▼身近な自然に触れて遊び、親しみをもつ。 ▼身近なものに見立てて遊んだり、好きなものになつたりして楽しむ。 ▼水を使った遊びの中で、開放感を味わう。 ▼水に親しみ、気持ちよさを味わう。 ◆保育教諭や友達に困ったことや気づいたこと、楽しかったことなどを話す ◆絵本やお話に親しみ。 ◆日常生活や遊びに必要な言葉の使い方に気づく。 ■いろいろな材料や用具に親しみ、描いたり作ったりすることを楽しむ。 ■音楽に触れ、歌ったり楽器を打ったり、リズムに合わせて動いたりする。 ■自分たちで作ったものを使って遊ぶ楽しさに気づく。 				<ul style="list-style-type: none"> ○健康な生活に必要な習慣を身につける。 ○いろいろな遊具や用具を使い、多様な動きを楽しむ。 ●気の合った友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ●友達していることに興味を持ち、仲間に入って遊ぶ楽しさを味わう。 ●簡単な決まりやルールを守って、友達と一緒に遊ぶ。 ●生活する中でよい事、悪い事に気づき行動する。 ▼危険な遊び方をしないように気をつける。 ▼共同の遊具や用具を大切に、みんなで使ったり片づけたりする。 ▼自然の美しさにふれ、感動したり自然物を使って遊んだりすることを楽しむ。 ▼自分の身の回りの人々や社会事象に関心を持つ。 ▼遊具や用具の扱い方に慣れ、自分なりに必要なものを選んで使おうとする。 ◆絵本やお話に親しみ、想像する楽しさを味わう。 ◆自分のしたい事やしたこと、見たこと、感じたことを身振りや言葉で伝える。 ◆感じたことや考えたことを言葉で伝え、保育教諭や友だちに受け止めてもらった喜びを味わう。 ■作ったもので遊ぶ楽しさを十分に味わう。 ■いろいろな材料を自分のイメージに合わせて見立てたり、工夫したりして使う。 ■いろいろな歌をみんなで一緒にうたったり、リズムに合わせて楽器を打ったりする。 ■音楽に合わせて体を動かしたり、自分なりに感じたまま表現したりする楽しさを味わう。 ■お祈りを通して、神さまの存在を感じ、感謝を表現してみる。 				<ul style="list-style-type: none"> ○冬の健康な生活に関心を持ち、必要な習慣を身につける。 ○危険なものや危険な箇所を知り、安全に気を付ける。 ○戸外で全身を思いっきり動かして遊び、みんなと一緒に遊ぶことの楽しさを味わう。 ○やってみようとして自分で目標を立ててそれに向かって取り組んでみる。 ●気の合う友達と一緒に一つのことに取り組み、クラスのみんなと取り組んだという充実感を味わう。 ●みんなと一緒にすることをする中で、我慢をすることや受け入れることの経験をする。 ●友達ができるようになったことに気づき、一緒に喜びをわかちあう。 ●友達と遊ぶ中で、人に親切にしたりされたりする心地よさを味わう ▼冬の自然環境にふれ、感動したり、疑問を持ったりする。 ▼草花の様子や木々の様子を感じ、季節の移り変わりを感じる。 ◆保育教諭や友達の話に親しみ、注意して聞く。 ◆絵本や紙芝居、お話を喜んで見たり、聞いたりしてイメージを膨らませる。 ◆自分のイメージを動きや言葉で表現したりして楽しむ。 ■身の回りの環境をきれいにすることや作品を見たり飾ったりすることに興味を持つ。 ○進級することに期待を持ち、楽しみに待つ。 			
環境構成の要点		<ul style="list-style-type: none"> ・園が心地よく、楽しい場所であると感じられるように、家庭での遊びと関連のある遊びができるように、材料、遊具、場を確保する。 ・園ならではの遊具や用具を準備し、新しい事にも興味をもってスムーズに参加できるようにする。 ・保育教諭は個々の子どもとのふれあいを多く持ちながら一人一人を温かく受けとめ、安心感をもって生活できるように心がける。 ・保育教諭自身も楽しみながら、園生活の楽しさを伝え、遊びや生活の仕方をていねいに伝える。 				<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの環境は、子どもの興味の動向をよくつかんで構成し、一人一人の遊び方や気持ちの変化に応じて場を整理し、必要な環境を再構成する。 ・園庭に花や虫とふれあえるような環境をつつておく。また、地域の公園などを適切な時期に利用し、経験の幅を広げていけるように配慮する。 ・よいことも悪いことも複雑に絡み合ってくる時期のため、それぞれの自分の言い分、一人一人の気持ちを受け止め十分に自己発揮させる。 ・保育教諭が媒介になり、気持ちをわかるように伝え、友達とのふれあいが楽しくなるように努力を繰り返していく。 				<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と自分の「したい遊びがじっくり楽しめるような場を工夫する。 ・子ども同士互いに誘い合い、刺激し合えるような場を設けたり、保育教諭が遊びに参加したりして自分たちで遊びを進める楽しさが味わえるようにする。 ・工夫したり試したりできる素材や用具を十分に用意し、それぞれが自分のペースで関わり、成功感を味わえるようにする。 ・園庭の整備と遊具の点検を行ない、安全に思いっきり運動ができるようにする。 ・自然と十分に触れ合いが持てるように、保育教諭自身が身近な環境に敏感に受け止めながら表現し、子どもの感動や発想を引き出すようにする。また、自然の動植物、虫など命や死について気づかせる。一緒に意味を考えてみる。 ・遊びの中で一人一人の気持ちを保育教諭が言葉に表現して関わり、互いに言葉で思いを伝えられるような状況をつくっていく。 ・保育教諭も一緒に遊ぶ中で、子どもの考えを聞いたり、イメージを膨らませたりして、やりたいことができるようにしていく。 				<ul style="list-style-type: none"> ・教材の提供や場の設定に心掛けイメージを広げていくことができるようにする。 ・年長児へのあこがれの気持ちを大切に、様々な関わりを通して自信につなげていくようにする。 ・友達との関わりの中で、互いがアイディアを出し合っ取り組む姿を見守り、個々の楽しんでいることを認め、それぞれがつまずきを見せながら、感じながらも乗り越えられるように援助する。 ・同じ目的や興味を持って友達と一緒に取り組み、成し遂げた喜びが味わえるようにする。 ・遊びや生活の中で年長児からいろいろな園で行う仕事について教えてもらえるような場や機械を設ける。 			
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に子どもたちの緊張と不安、その反面がんばりたいという気持ちの喜怒哀楽が交差して複雑な心境であることを理解してもらうとともに園と家庭が互いに情報交換をしながら、協力して子どもの成長を見守っていけるようにする。 ・新しい担任との信頼関係を築くために、子どもの様子を伝えながら安心してもらう。 				<ul style="list-style-type: none"> ・登園、降園の時、交通安全について適切な指導を促す。 ・保護者の不安を受けとめ、子どもの様子を具体的に伝えて安心して園に送り出してもらえるように努力をする。 ・一人一人の取り組みの仕方を伝え、園生活の様子を話しながら、ともに成長を見守るようにする。 				<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観や行事への参加を通して、子ども達の成長を知らせ、園との信頼関係を築くようにする。 ・子どもたちの日々の生活をクラス便りなどで知らせ、園行事などが親子で一緒に楽しめるよに工夫する。 ・保護者同士で話し合う機会や活動の場をつくり、親しみを深め、互いに高まっていこうとする関係作りに努力する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長の姿を具体的に保護者に知らせ、保護者と子どもがともに成長を喜べるように促す。 ・年長組になることを喜び気持ちを大切に、意欲的に取り組めるように見守り、進級を前にして保護者と共に、子ども達の年長組になる期待を支えるような関わり方を工夫する。 ・どのように進めていくのかを具体的に保護者に伝えていく。 			